

すぎのこ 「みんなで力を合わせて」

1年間を通して、子どもたちの笑顔と共に、成長する姿をたくさん見ることができました。今年度の学習発表会は、すぎのこ学級で「はらぺこあおむし」の音読劇を行いました。劇で使うあおむしが食べたものの絵はみんなで描きました。あおむしの歌を歌いながら楽しく活動することができました。あおむしの練習も上の学年の子が下の学年の子をリードしてみんなで協力して練習することができました。「すごくよくなっているよ。がんばって。」「今から行くよ。」と温かい声をかけている姿が印象的でした。今後も、笑顔を決やさず、いろんなことにチャレンジして欲しいと思います。



【学習発表会の小道具作り】

1年生 「きらきら ～にこにこ えがお いっぱい～」

いろいろなことに興味をもち、元気いっぱい、笑顔いっぱい活動してきた1年生。この1年間で、たくさんのことに挑戦してきました。1月に行った学習発表では、音楽づくりに挑戦し、グループの友達と一緒に作った「星空の音楽」を演奏しました。グループの友達と工夫を重ねて音楽をつくり、一生懸命に練習に取り組む姿から、子どもたちの成長を感じました。これからも、どんどんいろいろなことに挑戦し、笑顔いっぱい輝いてほしいと願っています。また、4月からは新しい1年生を温かく迎え、お兄さん、お姉さんとして活躍する姿も楽しみにしています。



【学習発表】

2年生 「杉山発見 ～知りたい！体育館工事のヒミツ～」

教室のすぐ隣で行われている体育館工事。日々、変化していく体育館の姿を、目を凝らして眺めていましたが、子どもたちは工事について詳しく知りません。そこで、体育館工事を担う工務店の方にお話を聞きました。子どもたちは、体育館はどうなるのか、どのような工事を行っているのか等の話、作業の工夫、初めて目にする道具の使い方に興味津々。また、テレビ画面に映し出された現場の様子や、作業を行う人たちの姿から、厳しい環境の中、危険な作業をしていることを知りました。自分たちが学ぶ場となる体育館の完成は、多くの方々の努力によって成し遂げられることにも気づきました。生まれ変わった体育館を大切に使うだけでなく、卒業後も、杉山小学校を、自分たちが学び育った地域を愛する人物への成長を願います。



【体育館の前で、ハイポーズ！】

3年生 「汐川干潟で学んだこと」

習字やリコーダー、理科や社会といった初めてがたくさんあった3年生。みんなで一生懸命取り組むことができました。総合的な学習の時間では汐川干潟を取り上げ、自分たちでできる保全活動を考え話し合い、実行しました。汐川干潟を守る会の保全隊の方々にも協力いただき、水辺の生き物との触れ合い、海鳥の観察、生物調査の見学などを通して、汐川干潟を保全したいという思いを高めることができました。ポイ捨て禁止の看板を設置したり、ゴミ拾い、砂を掘り起こしたりする活動は、全部自分たちで話し合い、決めることができました。校区の明るい未来を想像し、意欲的に取り組む姿は学年目標のポジティブそのものでした。



【汐川干潟での清掃活動】

令和3年度 教育活動の成果と課題

「学校教育活動に関するアンケート」にご協力いただきありがとうございます。この結果をもとに教育活動を見つめ直し、よりよいものとなるように改善していきます。

○選択肢 「そう思う」：4点 「どちらかといえばそう思う」：3点 「どちらかというと思わない」：2点 「そう思わない」：1点 ※昨年と比べて高いものをゴシック体で、低いものを下線で表してあります。

【学校評価】 A：十分に達成されている B：概ね達成されている C：あまり達成されていない 【関係者評価】学校評議員の方にしていただきました。 A：学校の自己評価は適切である B：概ね適切である C：あまり適切でない

令和3年度 学校評価

選択肢 ①「そう思う」…4点 ②「どちらかというと思おう」…3点 ③「どちらかというと思わない」…2点 ④「そう思わない」…1点 で計算して、平均点を示してあります。

Table with columns: 重点目標, 教育アンケート項目, 子ども, 保護者, 職員, 学校評価, 関係者評価. Rows include: 確かな学力の育成, 学ぶ意欲の向上, 豊かな心の育成, 命を大切に育む.

- 「確かな学力の育成」では、学ぶ意欲の向上について評価が上がっている。学校では、「『問い』に向かって追究し続けていく学びの場づくり」をテーマに教職員が研修を行ってきた。疑問を子どもたち同士で解決していこうとする意欲が成果として始めていると考える。
○ 業前活動の「おはなし村」では、図書ボランティアの方による読み聞かせを少ない回数で行った。図書ボラさんが来られない期間には、担任による読み聞かせを行ったり、司書教諭との連携を高めたりすることで、子どもたちの読書に対する興味・関心を高めていきたい。
○ 新型コロナウイルス感染症対策を実施しながらの教育活動であるため、グループ活動や話し合い、実験や実習、歌唱指導などに制限がある。そのようななかでも ICT 機器の活用など、できることを考え、効果を上げていく工夫を今後も継続していくことが大切である。
○ 感染防止の観点から、元気のよい挨拶が行いにくい面があったが、児童会の自主的な「あいさつ運動」をきっかけに学校内での挨拶の声が徐々に響くようになってきた。登下校でも、地域の方など誰にでも明るい挨拶ができるように家庭と連携して指導していきたい。



4年生「十才（てんさい）の輝き ～教室は間違える場所を合言葉にして～」

4年生は「十才（てんさい）の輝き」を学年目標にしているいろいろな活動に取り組んできました。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、いろいろな活動に制限がかかりましたが、子どもたちはたくさんのがんばりを見せました。勉強にも、運動にも失敗を恐れずに挑戦しました。授業では、活発に意見交流を行い、話す力・聞く力を大きく伸ばしました。杉山スポーツフェスティバルミニでは意欲的に練習に取り組み、「杉山ソーラン2021」を力いっぱい表現しました。一つの目標に向かって全力で作上げ、達成感を味わいました。係や当番活動などでも、きらりと輝く姿が多く見られました。4月からは、高学年として杉山小学校を引っ張っていく立場になります。その自覚も高まってきています。



【杉山ソーラン】

5年生 「杉山ハートフル大作戦の学びを通して」

5年生は総合的な学習「杉山ハートフル大作戦」で福祉について学びました。はじめに、東京パラリンピックについて調べ、障がいをもつアスリートの想いや競技の歴史、内容などについて理解を深めました。また、車いす体験や高齢者体験を行い、体の不自由さを感じることで障がい者や高齢者について学びを深めました。さらに、地域の福祉高齢者施設「カサデヴェルデ」の職員の方をお招きし、実際に介護に携わっている方からお話を伺うことで、福祉に対する知識を深めました。このように、調べ学習や体験活動を繰り返しながら、みんなが笑顔で幸せに生きていくためには、バリアフリーな社会をつくっていくことが、いかに大切なものであるか、学習を通して気づくことができました。この学びを通して、杉山が一層すすむことな校区になるよう、自分たちができることを実践して行ってほしいです。



【高齢者体験の様子】

6年生 「防災学習からの学び」

6年生は、総合的な学習で防災学習に取り組みました。自宅周辺の危険箇所調べから、杉山校区が、地震や大雨によって起こる土砂崩れや、津波の被害が大きい地区だと気づいた子どもたちの興味・関心は校区の防災対策に向けられました。そこで、天津防災センターや市民館について調べてみたところ、備蓄品は決して十分でないことが分かり、各家庭の準備の重要性を実感しました。段ボールの間仕切り体験では組み立て方を教えていただき、自分たちなりにできる活動があることを知りました。貴重な今回の学習を生かし、杉山を守る存在に成長してほしいと思います。



【天津防災センターの防災倉庫にて】

- 行事が延期や中止を余儀なくされることが多かったが、「すぎやまスポーツフェスティバルmini」として、保護者に公開できたことはよかった。今後も、感染防止対策を徹底しながら、何ができるか検討をしていきたい。
○ 今年度は、タブレット端末を活用した授業展開やオンライン授業に重点をおいて、教職員の研修を行ってきた。今後、「確かな学力の育成」のため個に応じた学習の充実や、道徳教育等を通して「豊かな心の育成」の部分の項目の評価が上がるように努力をしていきたい。
○ 保護者の自由記述には、温かい言葉を書いてくださる方が多い。「子どもをあたたかく見守ってくれている」「子どもが楽しく学校に行けている」「熱心に指導してくれている」といった意見を多くいただいた。